

「語りもんそ」

Vol.21 平成24年3月15日発行

♪♪♪ 日曜の朝にカフェで音楽を ♪♪♪
カフェ ミニコンサート

出演 (財)鹿児島文化振興財団
アーティストバンク登録アーティスト

毎月1回日曜日の10時30分～11時15分まで宝山ホール2階の喫茶店“カフェ マ・ナ～ナ”にて開催されています。

(入場料は無料ですが、要ワンオーダー)

●12月18日(日)は、久野真理香さん(ソプラノ)・植村富士子さん(ピアノ)のお二人で、NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」の主題歌、NHK連続テレビ小説「おひさま」・「カーネーション」の主題歌そしてクリスマスメドレー11曲が演奏されました。聞きなじみのある曲が多く、お客様も一緒に口ずさんだりして一足早いクリスマスの雰囲気を楽しみました。アンコールには「マイフェアレディ」の中から“踊りあかそう”が演奏され美しい歌声にのせて爽やかなひと時を過ごしました。



久野 真理香さん

植村 富士子さん

●1月29日(日)は、村尾智美さん(フルート)と岡村ありささん(ピアノ)のお二人で、クラシック・ジブリメドレー等16曲が演奏され、ふだんはヴァイオリンでよく聴く葉加瀬太郎さんの名曲をフルートのとてもやさしい音色で演奏し、癒された朝になりました。



岡村 ありささん 村尾 智美さん

○お客様に感想をお聞きしました

●高橋 節子さん 始良市

「新聞でこのコンサートを知りました 生の演奏に癒されてとても贅沢で、すてきな時間に感激して涙が出そうになりました。これからもぜひ足を運びたいと思っています。」と感想を話して下さいました。



高橋 節子さん

●2月26日(日)は外山友美さん(トロンボーン)と井ノ上綾香さん(ピアノ)のお二人で、ディズニーメドレー・ショパンの名曲・イギリスやアイルランドの民謡・花・涙そうそうなど14曲が演奏されました。「楽器の紹介や曲の解説もありとても良かったです。トロンボーンを間近で初めて聴き感動しました。」と多くのお客様から感想をいただきました。



外山友美さん(トロンボーン) 井ノ上綾香さん(ピアノ)

宝山プレゼント

ちびっ子集まれ!!
クラシックっていいな~

ファミリーコンサート

平成24年1月14日(土) 宝山ホール



「子どもと一緒に音楽を楽しみたい!」という家族のご要望にお応えした0歳児から入場できるファミリーコンサートで、演奏は“宝山室内アンサンブル”。(財)鹿児島県文化振興財団のアーティストバンク登録アーティストを中心に編成された彼らは若手でありながらクオリティが高く多様な音楽ジャンルに柔軟に対応できる技能を持っている演奏家たちの集まりです。



宝山室内アンサンブル

第1部は楽しい名曲の数々によるメドレーにのせ今日演奏をする楽器の紹介があり、クラシックの名曲3曲が演奏されました。

休憩時間にはロビーにて『楽器であそぼうコーナー』があり、ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・フルート・チューバの体験を多くのお友達が頑張ってお音を出しました。

第2部は『指揮者体験コーナー』からスタート、3人のお友達が体験しました。うたのコーナーではアニメ「トトロ」のうたからマルマルモリモリまで7曲を第1部と第2部の司会・唄・おはなしを担当されたソプラノの大嵩桃代さんと楽しく歌いました。



大嵩 桃代さん(中央)

●楽器であそぼうコーナー



楽器体験中のロビー

●指揮者の体験をしました



○お客様に感想をお聞きしました

●阿部智子さん 恵さん（4才） 鹿児島市郡元
「子どもに本物の音楽を生で聞かせたいと思いアップルシートを申し込みました。クラシックから子ども向けの曲などとても素晴らしいコンサートに感動し親子で楽しみました。アップルシートの協賛会社にはとても感謝しています。」楽器体験をされた恵さんは、「ヴァイオリンとフルートは初めてです。音を出すのが難しかったけど音が出せて嬉しかった。」と感想を話して下さいました。



恵さん 阿部 智子さん

●楽器体験コーナーでの恵さん



初めてのヴァイオリン



初めてのフルート

●前野 綾さん 未来さん 月菜さん 鹿児島市紫原 （5才） （3才）

「子どもが通っている幼稚園の情報誌に今回のコンサートが載っていました。子どもに色々な経験・体験をさせたいのと生のクラシック音楽を聞かせたかったので親子で来ました。質の高い演奏に感動しました。」未来さんと月菜さんは「楽器体験はチューバだったので音を出すのが難しく音が出せた時はとて

も嬉しかった。コンサートの曲は知っている曲が多く楽しかった。また来たい。」と感想を話してくれました。



前野 月菜（るな）さん 未来（みく）さん

人形浄瑠璃 文楽 プレセミナー

平成 24 年 1 月 29 日（日） 宝山ホール 2 階

講座の内容は、①三業「太夫・三味線・人形」の解説 ②人形の体験 ③実演 お園のクドキ

文楽の歴史から、太夫と三味線の演奏による“義太夫節”が核となって、人形と連携してドラマを創り上げていく音楽劇であることを分かりやすく説明があり、参加した受講者も大満足のセミナーでした。



太夫と三味線



人形の操作は三人でします



実演 お園のクドキ「艶姿女舞衣・酒屋の段」より

○お客様に感想をお聞きしました

●桑水 奈々恵さん

鹿屋市

「高校の修学旅行で淡路島に行きそこで初めて文楽を観て興味を持ちました。太夫と三味線を分かりやすく説明され、ふだんは見ることができない人形の内側の細かい仕掛けの解説で色々なことがわかってとても楽しかった。」と感想を話して下さいました。



桑水 奈々恵さん

平成 23 年度 宝山ホール

芸術文化講演会

「狂言に生きる」

大蔵流狂言師 茂山千三郎

平成 24 年 2 月 25 日 (土) 宝山ホール

日本の古典喜劇と言われる狂言にまつわる話や狂言師の親子の絆の深さや伝統芸能が持つ不思議な魅力と文化芸術の楽しさなどの講演がありました。

第二部は鹿児島県出身の山下守之さん、茂山千三郎さん、鈴木実さん出演による舞台公演、「附子(ぶす)」がありました。

○お客様に感想をお聞きしました

●有村麻亞利さん (小 4 年)

鹿児島市新照院

「講演では茂山千三郎さんと山下守之さんの経歴や日本の伝統芸能の狂言についてよく分かりました。また公演の“附子”では昔の言葉や言葉の調子で話す山下さんと茂山さんと鈴木さんがとても美しく見えました。狂言について強く興味を持ちました。」と感想を話してくれました。



後列左から 有村麻由美さん・大島みづほさん

前列左から 有村利仁さん・麻亞利さん・大島千代子さん

人形浄瑠璃 文楽

平成 24 年 2 月 29 日 (水) 昼夜 2 回公演
かごしま県民交流センター 県民ホール

【演目】昼の部 双蝶々曲輪日記「八幡里引窓の段」
新版歌祭文「野崎村の段」

夜の部 団子売

摂州合邦辻「合邦住家の段」

※ 上演前に演目の内容や見所の解説もありました。

○お客様に感想をお聞きしました

●カタリナ・ガンドルさん 鹿児島市唐湊 ドイツ
「鹿児島では観る機会が少ない“人形浄瑠璃文楽”を仕事で来日されたアネリーゼ・ヘルチグさんに日本の伝統芸能を見せたいと思い来ました。3人で一体の人形を指先までの細かい動きを操作し、それに太夫と三味線が合わせていく日本の伝統文化に感動しました。」と感想を話して下さいました。



アネリーゼ・ヘルチグさん カタリナ・ガンドルさん

《今回の取材担当》

取材記事 広報ボランティア 城勝美 加藤島太郎

撮影・取材記事 広報ボランティア 四十住 孝行

宝山ホール広報ボランティア 『語りもんそ』編集部

〒892-0816 鹿児島市山下町 5-3 宝山ホール

電話 (099)223-4221 FAX (099)223-2503